



秋を感じる写真を撮るミニイベント

平成23年10月16日(日)秋とは思えないほどの好天の中、多摩・三浦丘陵ウォーキングラリーが開催されました。これは、多摩丘陵と三浦丘陵に關係する13の自治体が、様々な地域の魅力を少しでも多くの人に知ってもらい、市町を越えた地域の連携や人の交流が生まれることを願って開催しているものです。

今回は、多摩丘陵の緑と水景の魅力を感じていただけるよう、八王子の里山から日野の丘陵地を歩き、向島用水親水路まで足を延ばす全長8kmのコースです。イベントも、

多摩・三浦丘陵ウォーキングラリーその2
「秋の八王子 日野の里山を歩く」を開催しました

午前9時には、189名の参加者の皆さんが元気よく、京王堀之内駅からゴールの高幡不動駅を目指してスタートしました。

八王子の谷戸の風景を過ぎて丘陵地にさしかかると、雨上がりで滑る足元にも力が入ります。それでも健脚な方々ばかりでアップダウンもなんのその！コース途中でコスモスの花を見つけてカメラを向ける家族連れ、楽しいおしゃべりが弾む女性グループ、しっかり手をつなぎ微笑ましく歩くカップル。そんな方々からコース内では私たちスタッフに暖かい声をかけていただく場面もありました。

スタートして2時間が過ぎようとする頃、ゴールにはもう、先頭の方が到着しました。さわやかな笑顔と大粒の汗、



浅川の土手に向かって

そしてイベントで見つけた「多摩丘陵の秋」をたくさん持って…。

そして、参加者の皆さん全員が元気にゴールに到着したことを確認し午後3時、私たちスタッフもさわやかな笑顔でゴール会場を後にしました。参加いただいた皆様、本当にお疲れさまでした。

主催する多摩・三浦丘陵広域連携会議では、一昨年11月に第1回として「逗子・葉山の里海を歩く」を、昨年11月には第3回「鎌倉を目指して円海山・天園を歩く」をそれぞれ開催しました。これから、皆さんとともに多摩・三浦丘陵を巡り、貴重な緑と水景を守っていけるようウォーキングラリーを続けていきます。ご期待ください！(Y・K)

日野市における緑地協定第2号が誕生

平成23年11月11日に日野市で第2号目となります緑地協定が誕生しました。

緑地協定とは、法律(都市緑地法)に基づき、土地所有者等の皆さんが地域の緑化や緑の保全についてルール等を定め、市の認可を受けて、より良い緑のある住環境を創っていく制度です。

なお、緑地協定のメリットとしては、地域の皆さんの総意のもと、まちぐるみで緑化を行うため、計画的な緑化が図れることや環境・景観のレベルの向上につながるものがあげられ、さらに地域の皆さんが自主的に緑化活動・管理作業を行うため、地域の一体化やコミュニケーションの向上にも効果があるとされています。

今回、認可した緑地協定は、多摩平の森において緑のある良好な住環境を創出していくにあたり大変効果的なものになります。

今後も日野市がさらに緑溢れる街なみとなるよう、緑地協定を市内に広め、緑化の推進や緑の保全への取り組みに努めてまいりますので、市民の皆さんのご理解・ご協力をお願いいたします。

〈今回認可した緑地協定の概要〉

(K・W)

- | | | |
|---|---------|-------------------------------------|
| 1 | 緑地協定の名称 | フローラルアベニュー多摩平の森緑地協定 |
| 2 | 協定者の名称 | 大和ハウス工業株式会社多摩支店 |
| 3 | 協定の区域 | フローラルアベニュー多摩平の森地区(日野市多摩平六丁目33番1の一部) |
| 4 | 区域の面積 | 5828.88㎡ |
| 5 | 計画戸数 | 40戸予定 |